

第48回全国豆類経営改善共励会の結果について

(公財)日本豆類協会

令和元年産の豆類生産で、特に経営改善の面から先進的で他の範となる豆類生産農家及び生産集団を表彰する第48回全国豆類経営改善共励会(主催:全国農業協同組合中央会、全国新聞情報農業協同組合連合会)の全国審査が書面にて厳正に実施され、農林水産大臣賞など計7点の受賞者・団体が決定いたしました。

ここでは、応募の状況と受賞者の概要を報告します。

1. 応募者と全国審査会の状況

第48回全国豆類経営改善共励会への参加点数は40点で、内訳は大豆家族経営の部16点、大豆集団の部23点、小豆・いんげん・落花生等の部1点でした。

都道府県、ブロックの審査を経て、國分牧衛審査委員長ほか8名の審査委員が書面による全国審査を厳正に実施し、大豆家族経営の部、大豆集団の部、小豆・いんげん・落花生等の部の3部門ごとに、農林水産大臣賞等が選定されました。

受賞者は、いずれも高収量・高品質を実現されながらコスト抑制も達成しており、その技術・経営内容は他の模範となると高く評価されました。

2. 表彰受賞者

①農林水産大臣賞

【大豆家族経営の部】アグリード株式会社(岐阜県本巣市)

【大豆集団の部】農業組合法人強首ファーム(秋田県大仙市)

【小豆・いんげん・落花生等の部】伊場満広(北海道十勝郡浦幌町)

②政策統括官賞

【大豆家族経営の部】西川俊博(北海道雨竜郡雨竜町)

③全国農業協同組合中央会会長賞

【大豆集団の部】牛屋宮農組織かがやき(新潟県村上市)

④全国農業協同組合連合会会長賞
【大豆家族経営の部】阿部秀幸(山形県新庄市)

⑤日本豆類協会理事長賞
【大豆家族経営の部】麻生幸希(福岡県宗像市)

● 3. 農林水産大臣賞(小豆・いんげん・落花生等の部)：伊場満広氏の経営概要

伊場氏の経営面積は、37haであり、令和元年度は4.5haにいんげん品種「大白花」を栽培されました。令和元年度の単収は277kg/10aであり、過去3年間も270kg/10aと北海道の平均を大きく上回り、品質も大部分が2等に格付けされています。

また、栽培技術面でも、GPSガイダンスの活用による作業の省力化・高精度化により、労働負担の軽減と作業の効率化に努められているほか、定期的な土壌診断に基づいた適正施肥に加え、麦稈との交換で近隣畜産農家から牛糞を入手して施用するとともに、緑肥も施用するなど、有機物による土作りに留意されています。

さらに、販売面では、パーキングエリアでの直販やネット販売に取り組み、ホームページやSNSを通じた消費者へのPR活動も実践されておられます。



● 4. 表彰式

第48回全国豆類経営改善共励会の表彰式は、従来のように関係者が一堂に会して行うのではなく、7月中旬にかけて各地域や受賞者の都合に応じて、それぞれ地域農政局、県JA中央会、役場等において各賞の授与が行われました。

なお、第48回全国豆類経営改善共励会の結果については、6月29日の日本農業新聞に掲載され、広く関係者に周知されました。